

個別の教育支援計画

1. 基本情報

項目	内容
氏名	山下 海斗（やました かいと）
性別	男
学年・組	2 年 B 組
生年月日	平成 23 年 7 月 15 日
診断名	自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（ADHD）傾向
在籍形態	通常学級在籍・特別支援教室通級
保護者氏名	山下 隆・真由美
担任	田村 美穂
支援員	阿部 俊介
作成日	令和 7 年 4 月 15 日
評価・更新日	令和 7 年 10 月 15 日

2. 本人の状況・特性の概要

- 鉄道や地図など、興味のある分野には集中して長時間取り組む。
- 苦手な課題では集中が途切れやすく、忘れ物も多い。
- 予定変更に強い不安を示し、見通しが立たないと混乱しやすい。
- 周囲の言動に敏感で、注意されると過剰に反応することがある。
- 感覚過敏があり、大きな音や人混みを避ける傾向。
- 一方的に話することがあるが、相手に関心をもつ意欲は強い。

3. 家庭での様子

- 興味のある本や動画を繰り返し見る。
- 朝の準備は声かけがあれば自分でできるようになった。
- 学校での出来事を具体的に質問すれば話してくれる。
- 睡眠リズムは安定しているが、行事前日は不安から入眠が遅くなる。
- 家庭でも ICT 端末の使用ルールを共有している。

4. 学習面の課題と支援

観点	現状・課題	支援の方向性
読み書き	板書を写しきれないことがある	スライド共有・ふりかえりノートの印刷配布
集中力	長時間集中が難しい	タスクを短く区切り、タイマー活用
理解面	抽象的な表現に混乱	具体例・図解・実物提示を重視
自主学习	宿題を忘れることがある	宿題リストを端末で共有、提出確認チェック

5. 行動・生活面の課題と支援

観点	現状・課題	支援の方向性
感情のコントロール	指摘されると怒りを表す	クールダウンの時間・場所を確保
見通し	突然の変更に動揺	予定変更時は事前説明と視覚的提示
対人関係	話しすぎて相手を困らせる	相手の反応を見る練習・社会的スキル指導
生活習慣	忘れ物・提出忘れが多い	チェックリストで可視化・習慣化を支援

6. 支援の具体的取組

- 朝の会で1日のスケジュールを確認。
- 授業では「できたチェックカード」を用いて達成感を促す。
- 苦手科目（国語・数学）は、支援員が隣席でサポート。
- 感情が高ぶった際は「青カード(休憩申請)」を掲げてクールダウンスペースへ移動。
- 放課後は10分間のふりかえり記録を実施し、支援員が確認。
- 保護者との連携はGoogle フォーム連絡帳で日々共有。

7. 関係機関・連携

機関名	担当者	内容
学校内特別支援コーディネーター	吉田 理恵	全体調整・支援会議の開催
通級指導教室（ことばと学び教室）	藤本 剛	学習スキル指導・自己理解支援
スクールカウンセラー	山口 恵子	感情コントロール支援・相談
保護者	山下家	家庭での支援方針の共有

8. 年間支援目標

項目	目標	評価方法
学習面	苦手な教科でも最後まで課題に取り組めるようになる	ワークシートの提出率・ふりかえり記録
生活面	自分の気持ちを言葉で伝え、落ち着いて行動できる	観察記録・支援員コメント
対人面	友達とのトラブルを自分で解決できる力を育てる	交流場面の振り返り・面談記録
自立面	持ち物管理・日課を自分で行える	チェックリスト達成率

9. 評価・今後の課題

- 2学期以降、落ち着いて授業に参加できる時間が増えた。
- クールダウンカードの使用が減り、自己コントロールが向上。
- 苦手な教科でも「やってみる」と発言するようになった。
- 依然として予定変更時の不安は強く、支援員のフォローが必要。
- 3年次は進路指導に向けて自己理解を深める支援を強化。

10. 支援会議記録（抜粋）

日付	出席者	内容
令和7年4月15日	担任・支援員・保護者・SC	新年度方針確認、連絡帳フォーマット共有
令和7年7月3日	担任・通級教員	授業中の集中低下に関する支援方法検討
令和7年10月10日	支援チーム全員	進路希望・行事対応・評価の見直し